

製品名: LRP5 マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM81103

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	179kDa

抗原情報

遺伝子名	LRP5
別名	HBM; LR3; OPS; EVR1; EVR4; LRP7; OPPG; BMND1; OPTA1; VBCH2
遺伝子 ID	4041.0
SwissProt ID	O75197
免疫原	大腸菌で発現したヒト LRP5 の精製された組み換え断片。

背景

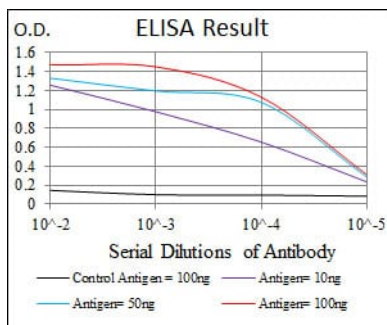
この遺伝子は、受容体を介したエンドサイトーシス過程においてリガンドに結合し、それを内部に取り込む膜貫通型低密度リポタンパク質受容体をコードしています。このタンパク質は、Wnt タンパク質によるシグナル伝達において、Frizzled タンパク質ファミ

リーメンバーと共受容体として機能し、もともとヒトにおける1型糖尿病との関連性に基づいてクローニングされました。このタンパク質は骨格恒常性維持に重要な役割を果たしており、多くの骨密度関連疾患はこの遺伝子の変異によって引き起こされます。また、この遺伝子の変異は、家族性滲出性硝子体網膜症も引き起こします。

研究分野

-

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);